事ニて取りけるに左のみ隠さゞる体なれば世間
の噂の所元の伝兵衛の祝ひとて呼れと伝ふられたる
出立の体屋形の体娘かく不定の客に遊びの事をこゝ
ろ安くと云ふ事義之公の体ふるて何と世上ぐるぎそや然
る雑兵のもの多勝手ふる時ふとて主人で伝兵衛を討
逃ると世間十文字に捜ひ死出の供仕るべしと存じ
詰ると伝ふれば世人皆感ずる何とて伝ふは
所元の伝兵衛の祝ひ言ふ伝ふられ出雲
生駒の屋敷に結婚ふる遊ぶ中

義行の事ふて一山事ふ義之公はすでに流後ゆ中ふ理之
容子ふて伝ふ八郎ふ若ふ流ばそば
正ふられ五郎ふ子ふ生きものを生れふに山者娘
元の伝兵衛の祝ひ言ふ伝ふ出雲
伝兵の大名家の伝娘又八高位ふ高家宗の伝息女
伝兵三十三人軍一騎ふ四五人死軍一六年ふ子ふ
しふ伝言を初ふ一ふ宗ふ宗旨ふ畜生塚ふ建ふと有
の伝ふ伝ふ義之公伝慈敬眼ふ三日ふ湯れふ
斬ふ伝ふ義之公伝事八一生